



# 株式会社ビックカメラ 環境報告書ver.2, 2008. 5. 30 (要約版)

—「エコ・ファースト」の約束—



鴨下環境大臣に環境先進企業としての  
地球環境保全の取組を約束  
(2008.4.16)

エコ・ファースト制度第1号に

2008年4月16日、**ビックカメラ**は環境省が創設した  
「**エコ・ファースト制度**」の**第1号**に選ばれました

株式会社**ビックカメラ**は2008年4月16日、環境省が業界のトップランナー企業の環境保全行動を更に促進するために創設した「**エコ・ファースト制度**」の第1号として、当社社長 宮嶋宏幸が鴨下環境大臣に対して「**エコ・ファーストの約束**」を行いました。これにより、ビックカメラは、この約束に基づいて「**エコ・ファースト・マーク**」の使用が認められました。



## エコ・ファーストの約束(概要)



### 1、地球温暖化防止に向けた取組

- \* 全国トップを切って協賛した「1人1日1kgCO<sub>2</sub>削減チャレンジ宣言」
- \* 2004年度から3年連続大臣賞を受賞した実績をもとにした省エネ家電の普及促進
- \* 公共交通機関の利用も便利な場所への出店及びLEDによる外壁照明など環境配慮型の店舗づくり

### 2、自らのCO<sub>2</sub>削減

- \* 空調温度設定の省エネ化、展示用製品の通電の削減など、お客様の理解を得ながら進める店舗での省エネの取組
- \* 業界で初め設定した「企業単位のCO<sub>2</sub>削減目標(店舗面積当たりのCO<sub>2</sub>排出原単位を2010年までに2006年比で4%削減)」の達成

### 3、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

- \* 家電リサイクル法の適正かつ積極的な推進、パーソナルコンピューター等のリユースなど従来からの取組を一層強化
- \* 家電量販店初の取組として、希少資源の回収の必要性が高まっている使用済み携帯電話端末の全店舗での回収を今夏を目処に実施
- \* 包装容器の削減(紙製買物袋28トン、プラスチック製レジ袋29トン(※既存店ベース))
- \* 配送時の梱包材の計画的再資源化(ダンボール480トン、発泡スチロール324トン)の目標の設定



## ビックカメラのCO<sub>2</sub>削減目標と達成状況

**ビックカメラ**は、「環境報告書2007.10.25」で、CO<sub>2</sub>排出原単位(店舗面積当)を2010年までに2006年対比で4%削減する目標を設定いたしましたが、2007年の実績は削減目標を達成いたしました。

《CO<sub>2</sub>排出原単位 実績》

2006年	2007年	増減率
207.4727 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> (算定対象22店舗)	198.1409 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> (算定対象25店舗)	-4.5%

(今後の課題等)

- \* エネルギー消費原単位については、横ばいという結果に止まりました。
- \* エネルギー消費原単位が横ばいに止まったにも関わらずCO<sub>2</sub>排出原単位が大幅に減少したのは、使用エネルギーの大部分を占める電力において、電力会社の電源構成等により排出係数が大幅に改善したことが主たる要因です。
- \* 今後は、供給サイドの要因によることなくビックカメラの取組がそのまま反映されるエネルギー消費原単位で削減目標を達成するための対策を強化します。



## 環境配慮の店づくり

- \* **ビックカメラ**では、CO<sub>2</sub>削減目標達成に向けて、売場照明、エアコンの温度、エスカレーター・エレベーターの運転、店外装飾照明の点消灯等のきめ細かな節電、ショッピングバックの使用削減、ゴミの分別などについてきめ細かなルールを策定し店舗でのCO<sub>2</sub>排出削減及び資源の節減に努めています。
- \* 特に店舗におけるエネルギー消費の増加要因となっている展示用薄型テレビの通電削減については、新たな取組みとして薄型テレビの展示台数の約30%を常時電源オフとし、接客における必要時のみ電源を入れる「**エコ展示**」を**全店で導入**しています。



## 省エネ家電普及促進について



### エコ・ファースト・ポイントアップキャンペーン

エコ・ファーストの一環として、地球温暖化防止に寄与する省エネ型製品普及促進のため「エコ・ファーストポイントアップキャンペーン」を4月25日から実施しています。期間中、当社指定薄型テレビ・冷蔵庫・エアコンで省エネ性能の優れた製品(統一省エネラベルの「☆」の数4以上)をご購入いただいたお客様に、ビックポイントのアップを実施。

### 子会社ソフマップのとの連携によるリユース促進

リユース事業を通じて、環境・循環型社会への貢献を目指しており、年間約20万台の中古パソコンを買取・販売(リユース)を行い、中古モニタを合わせて約21,000トンのCO<sub>2</sub>削減効果をあげました。



(ビックカメラ有楽町店ソフマップ買取センター)

# 家電リサイクルの適正かつ積極的推進



家電リサイクル制度の適正かつ積極的な推進は、**ビックカメラ環境・CSR** 事業の中でも**重要事項**と位置づけており、「**エコ・ファーストの約束**」でも対象品目の**引取り・引渡しの適正化**及び**家電リサイクル券の適正交付と管理**の励行を約束しています



**家電リサイクル**  
**リユース買取りサービス**

リユース買取りサービスは…

① お買い替え時、引取り品を当店で買取ります。  
② リサイクル料金+運送料の負担がありません。  
※買い替えキャンペーンとの併用はできません。

対象品…

対象品	買取り品の目安
●冷蔵庫	・製造日より6年以内のもの ・故障のないもの ・外観に特に異常がないもの
●洗濯機	
●テレビ	

※お買い替え時、引取り品を当店で買取ります。リサイクル料金+運送料の負担がありません。  
※買い替えキャンペーンとの併用はできません。

詳しくは販売員にお問合せ下さい。

**1,000円**で買取りします。

ビックカメラ

## 使用済み携帯電話端末の回収・リサイクル



資源小国日本は、使用済み携帯電話端末からパラジウム、金、銀、銅などの資源をリサイクル・回収する必要があります。

2008年度の使用済み携帯電話端末の回収実績は、2002年度の半数以下の662万2千台にまで低下しています。

使用済み携帯電話端末に含まれている個人情報を実際に破壊した上でリサイクルする必要があります。

ビックカメラ全店舗での使用済み携帯電話端末の回収・リサイクルの実施に向けて準備を進めています。



## 包装容器の削減

**ビックカメラ**は2008年度に紙製買物袋を無漂白の薄肉再生紙に転換し  
既存店ベースで28トン(5%)を削減、またプラスチック製レジ袋について  
もお客様に要否の確認を行うとともに薄肉化を推進し、29トン(20%)を  
削減します。



## 北海道洞爺湖サミット支援



減らそうCO<sub>2</sub>成功させよう北海道洞爺湖サミット: **ビックカメラ**は、地球環境問題が主要テーマのサミットを全面的に応援しています。



## 太陽光グリーン電力調達

**ビックカメラ**は、京都議定書

目標達成初年度記念CSR事業

として太陽光発電によるグリーン

電力調達を行っています。



## 省エネ小冊子の配布

2004年に家電量販店で初の省エネ啓発冊子を発行し、無料配布を行い始めてから、今回で4年目となりました。



2004-2005



2005-2006



2006-2007



2007-2008

「最新の省エネ家電のご紹介」、「省エネになる使い方のご案内」から始まり、2006-2007年度版においては、小学生にも見ていただき、家族で省エネを意識し、活動していただくことを目的としてクイズ形式の「省エネ学習帳」を発行、2007-2008年度版はCO<sub>2</sub>排出量の削減を取上げた「エネルギーダイエット」を発行いたしました。小冊子の中で省エネになる使い方を描いた省エネシールの実践を促しております。

## ファースト・エコファーストの約束



エコファーストのロゴを使用するためには「約束」を守るだけでなく、常に業界の環境対策のトップランナーであり続けなければなりません。

常に環境対策を進化させることがトップランナーの責務であり、また加速化する地球温暖化に対処する唯一の道筋と考えています。改定作業を通じて、若手を中心に社員の間に関環境先進企業としての自覚が確実に広がり、深まりつつあることを実感できたことが、監修者にとっての喜びとなり、未来への希望となりました。皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしています。

環境報告書の本文は当社ホームページ(下記アドレス)に掲載されておりますので是非ご参照下さい。  
<http://www.biccamera.com>



(2008年2月29日、高橋北海道知事へ社長の宮嶋よりサミット支援目録を贈呈)

2008年5月30日

取締役CSR担当  
加藤 周二